

「楽しい学級・学校づくり」のベースは，一人ひとりの子どもをしっかりと理解することではないでしょうか。

子どもの特性を知り，いいところを伸ばしながら，苦手なところを支援していこうとする特別支援教育は，まさしく，一人ひとりの子どもを見つめていく取り組みです。

気づくことから支援が始まります！



行動する

- ・ 落ち着きがない，気が散る
- ・ 途中で口をはさむ
- ・ すぐかっとなる
- ・ こだわりが強い
- ・ 場の雰囲気が読めない
- ・ 友達とうまく遊べない

読む・書く

- ・ 行をとばして読む
- ・ たどたどしく読む
- ・ よく似た字を書き間違う
- ・ 漢字が覚えられない

計算する・推論する

- ・ 計算に時間がかかる
- ・ 計算ミスが多い
- ・ 位取りが混乱する
- ・ 図形や応用問題が苦手

運動する・操作する

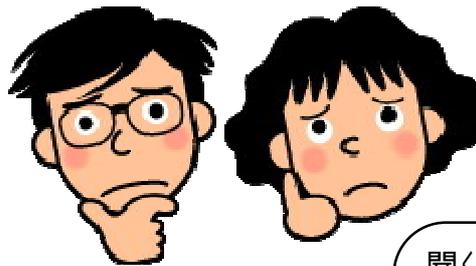
- ・ 動きがぎこちない
- ・ 縄跳び，ボールなど，物をうまく使えない
- ・ 人と合わせる運動が難しい
- ・ はさみやコンパスが苦手

生活する

- ・ 忘れ物が多い
- ・ 片付けができない
- ・ 準備ができない

聞く・話す

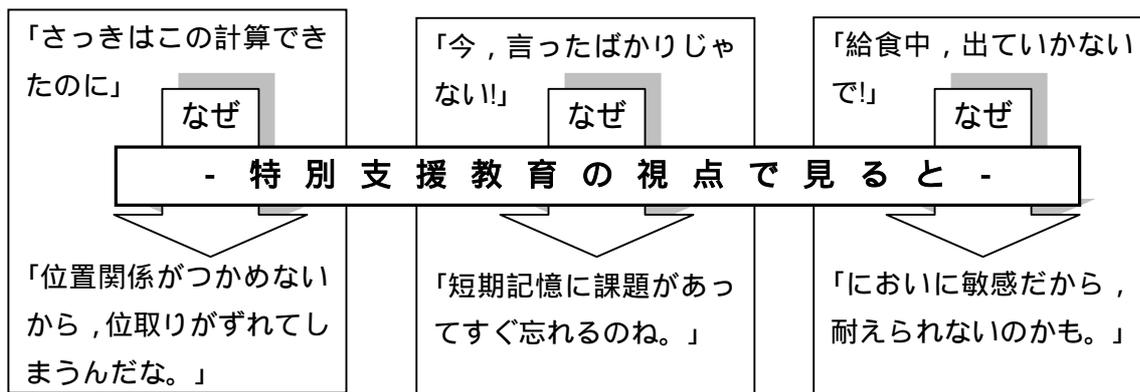
- ・ 一斉指示では分からない
- ・ 聞き間違い，聞き漏らしが多い
- ・ 言葉の意味が理解できていない
- ・ やりとりがちぐはぐ
- ・ 自分の思いを伝えられない



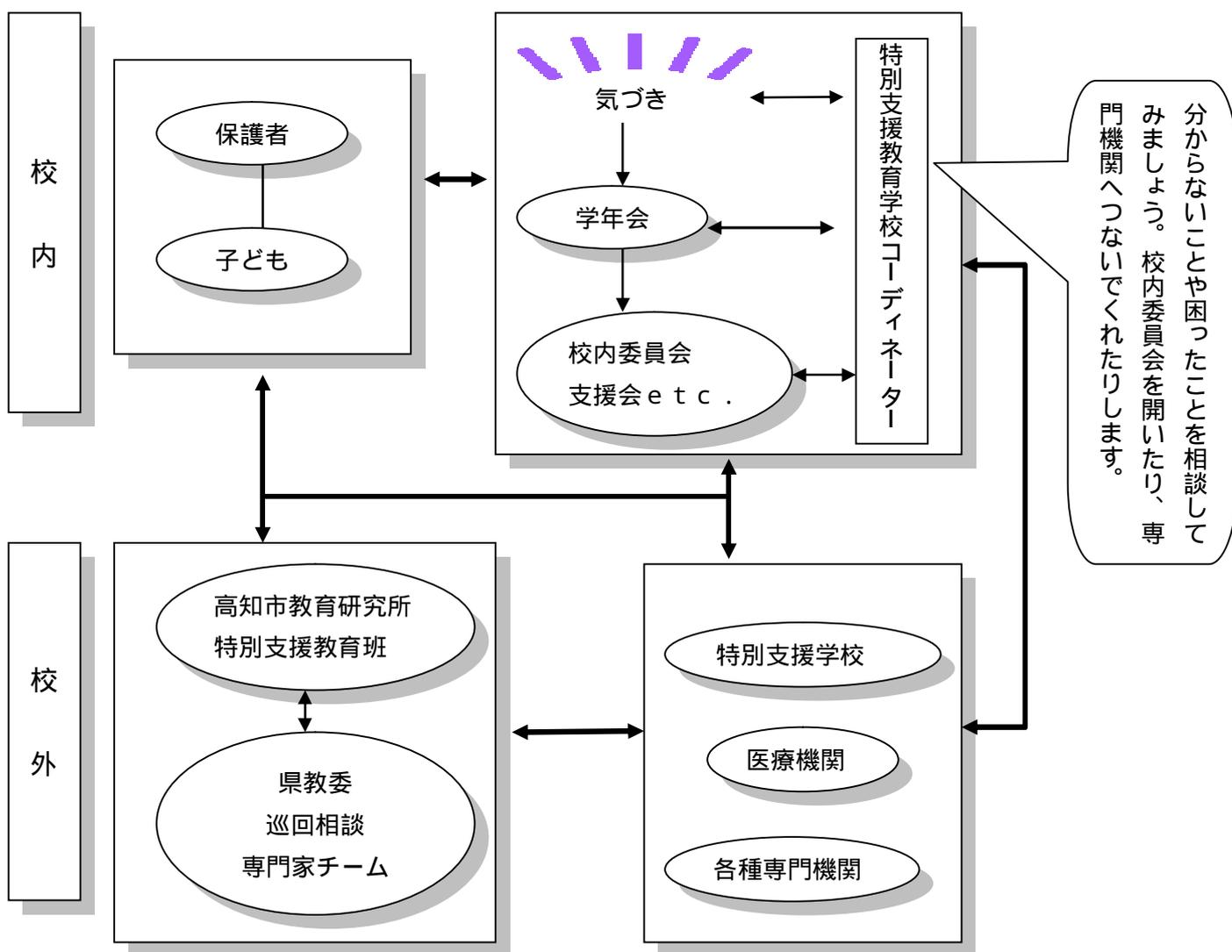
通常の学級の中に，学習面や行動面で困難さを示す子どもたちが全体の約6.3%いるといわれています（2002年の文部科学省全国調査結果から）。

40人学級であれば，「どの学級にも1～3人」ということは…。

あなたのクラスにも特別支援教育は必要なのです！！



つなぐことで、支援が広がります！



記すことで、支援が確実なものになります！

* 個別の教育支援計画

を作って支援に役立てよう!

* 個別の指導計画

- * 何にどう困っているのかに気づき，支援を考えてみましょう。そして，子どものいいところを見つけて評価しましょう。
- * とりあえず，今，できそうなことをさがしてみましょう。
- * その子への直接の支援だけでなく，その子が生活するクラスなど，周囲の状況にも配慮しましょう。
- * 子どもの応援団（人的，物的資源）を整理してみましょう。
- * 共通理解や引継ぎに活用しましょう。

【参考文献】

教育技術MOOK COMPACT64「特別支援教育早わかり」黒川君江ほか著 小学館 2007年

(高知市教育研究所 特別支援教育班 TEL 832 - 4497)